

ふるさと わがまち わが地域

歴史の末裔たちのすみし地区

平 世帯数 104世帯 平(へい)・井上(いのうえ)地区281027

人口 227人

井上 世帯数 6世帯

人口 18人

(平成28年9月末)

前回(27/11)より

平 世帯数 ▲ 1世帯

人口 ▲ 34人

井上 世帯数 ▲ 1世帯

人口 ▲ 1人



★地区概要

平地区は 上宇川地区の**中心地区**です。地名のいわれは、**平家落人部落**に由来する集落名であるといわれています。平家天下統一の永万元年(1165年)、平重盛が父清盛より丹後国を与えられたといい、また重盛の五男、小松忠房が丹後守になって、府中小松に居館を構えたともいいます。文治元年(1185年)平家の滅亡により、忠房も亡くなり、一門の人々は丹後半島山間を落ちのびて、この地まで辿りついたと伝えられています。また、ここには、**平遺跡**(縄文遺跡)があり、祖先の足跡が現代にのみがえってきています。更に、他地区にくらべ**施設がたくさんあります**。また、航空自衛隊第35警戒隊経ヶ岬分屯基地の平官舎があります。



平住民センター



平クラブ



平共同集会所
平住民センター

ゲートボール場

平地区の諸団体の利用の他に、上宇川地区の農地・農業を守るために再ほ場整備推進委員会の会議が平成24年から開催されています。平成27年度までは事務員さんが常駐していましたが、28年4月以降はいません。(現在募集中?)



入場料を販売しています。



アユのつかみ取りスタート前です。



どこ? そっち、あっち



唯一の模擬店

宇川アユまつり



実行委員長あいさつ。



一斉にスタート!!



「アユいる?」

第30回宇川アユまつり 恒例の中瀬橋親水公園で平成28年8月15日(月)に開催されました。当日は帰省客や常連の皆さんが約250人超が参加しました。(平成28年8月15日撮影)

科戸神社(しなとじんじや)

八朔祭 旧暦の8月1日に実施。

現在は毎年9月の最初の日曜日に行われています。(平成28年9月4日撮影)

八朔祭は豊作祈願のお祭りです。

宮司さんのお話では、江戸時代(1600年)から全国的に行われ始めたとのこと。平地区もこの頃からだと思えますが定かではありませんとことでした。(平成25年・野間の宮司さんの話より)

当日参加者 16人

宇川の松田宮司さんが執り行いました。

祭神は科津比古命(しなづひこのみこと)

科津比女命(しなづひめのみこと)



八幡宮

八幡宮の祭神は誉田和気命(よだわけのみこと)です。

境内には、武内(たけうち)神社と一段上に愛宕神社があります。現社殿は元禄11年(1698年)8月15日の棟札(むねふだ)と文政11年(1828)4月16日上屋(うわや)建立の棟札があります。

本社は古来、宇川18ヶ村総社として崇高を集めていたが、今は村社として宇平だけで祀られています。鳥居から直進して、「九十九折れ」の参道を約200m登ると山手に神社があります。



武内神社

祭神
武内宿禰(たけうちのすくね)
天兒屋根命(あめのこやねのみこと)



岡田区長さんです。



松田宮司さんです。



科戸神社



八朔祭に欠かせない土俵です。

平成28年も残念ながら奉納子供相撲が行われませんでした。



波勢(はせ)神社



文政7年(1824)に村の火災にともなうて類焼し、のちに天保6年(1835)9月社殿再建立。

祭神 火産霊神(ほむすびのかみ)
奥津比古神(おきつひこのかみ)
奥津比女神(おきつひめのかみ)

井上地区



入口の目印として
カン缶があります。

愛宕神社まで約300m

上野から碓に向けての道中(右側)にあります。



愛宕神社



三柱神社



国営農地の果樹園

四軒がブドウ(ピオーネ)を栽培して
います。ぜひ食べに来てください。



井上倶楽部

子安地藏が安置してあります。



三柱神社からの風景



作業中



同一家屋です。





棲巖山 常德寺(曹洞宗)

本尊は釈迦牟尼如来
永享元年(1429)に創建。慶安2年(1649)智源寺橋
州宗曇和尚を開祖、智源寺末院の内二十四院のうちと
なりました。



山門

重層の四脚門で、天保3年
(1832)の再建。



子安地藏

小脇より平成元年(1989)に遷仏。
子宝、安産、家内安全にご利益あ
りますとのことです。



宝篋印塔

室町時代後期
(約450年前)の作



一転一唱 除災得幸



興栄山 妙源寺(日蓮宗)

本尊は日蓮上人。
永禄11年(1568)地頭井上石見守が法華経信仰の結果
妙源庵を創建した。興栄院殿妙源日繁大居士を開祖として
それから十五代を経て日典上人を開山、現在に至る。



集会所

西教寺(真宗西本願寺派)の一部が祀っております。
本尊は、阿弥陀如来。



27年8月15日の平海水浴場の一風景です。

また、シーズンオフは波をこよなく愛する人たち(サーファー)の場所になっています。



28年6月27日(月)10:16



交通安全を願う平地区 宇川橋の地藏尊

(当時の代表:小田弥一郎さん)

当時、宇川橋の交通量が多いうえ、見通しが悪く再三交通事故が発生し、数名の尊い命が失われていたため建立されたとのこと。昭和48年11月19日除幕式



道敷界

官地と民地との境の道標。昔の標識? 年代不詳。



宇川果樹生産組合

遠く眼下に日本海の青々とした海が飛び込んでくる、丹後縦貫林道の途中に平成7年に造成された国営宇川第2団地は植栽面積2.4haでブドウ(最高級品種ピオーネ)約60本と梅約40本の栽培がおこなわれています。現在、4軒(酒井、岡田、田中、増田)の農家で果樹栽培に奮闘しています。



ボス猿か?

宇川地区の鳥獣被害の主役の一人です。20匹から30匹が集団行動しています。たまに離れ猿がいます。



麺棒で延ばしています。



混ぜて、捏ねています。

平成28年8月9日(火)に実施された、京丹後市商工会の外国人留学生による地域資源(観光資源)モニター調査事業の一環です。地域商品を体験しながら、地域の人たちと交流し、観光商品としてのモニター事業です。
「平そば会」の指導で留学生の皆さんによる『そば打ち体験』の様子です。



切っています。
切っています。



「びっくり水」は麺類を茹でる時に使用します。吹きこぼれや具材を引き締めたり芯まで火を通すための大切な水です。このことに「びっくり」していました。



自分たちの打ったそばを試食です。

「平そば会」

平成16年発足。
現在の会員は14名です。
活動は、そば打ち。
収穫祭後の「上宇川文化祭」出店、収穫祭、年越しそば打ち、依頼があれば出前授業(今年度島津小学校)
なお、そばは自家製です。



みんなで配膳